

2017年(平成29年)度

# SenTIA 国際理解 プログラム

3つのプログラムから  
お選びください。



私たちの街・仙台には、さまざまな国出身の外国人市民の方が暮らしています。  
(公財)仙台観光国際協会では、世界の文化・習慣等について学び、異なる価値観を持った人々とともに暮らす多文化共生社会の担い手を育成するために、国際理解プログラムを実施しています。

## 国際交流プログラム

留学生等の外国人市民を講師として派遣し、母国・出身地の文化や暮らし、日本に来てからの経験談などを聞き、交流します。外国の暮らしがわかる教材の貸出もしています。

## 開発教育プログラム

貧困、人権、環境、多文化共生など、世界の課題について、アクティビティによる疑似体験を通して学ぶ、参加型学習(ワークショップ)の教材を貸し出します。

## 国際センタープログラム

仙台国際センターの見学と、外国人市民や国際交流の話を聞きます。

見学内容 ○大ホール・展示棟などの国際会議場、同時通訳ブース

※当日使用のない場合に限りです。

○交流コーナー 外国を紹介する図書、ビデオ、DVDなどがあります。外国人市民への生活情報や市内の国際交流・協力活動の情報提供も行っています。

【協力：仙台国際センター指定管理者 青葉山コンソーシアム】

主催：公益財団法人仙台観光国際協会 (SenTIA)

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城教育大学国際理解教育研究センター

【お申込み・お問合せ】 ☆申込用紙は、SenTIAのHPからダウンロードすることができます。

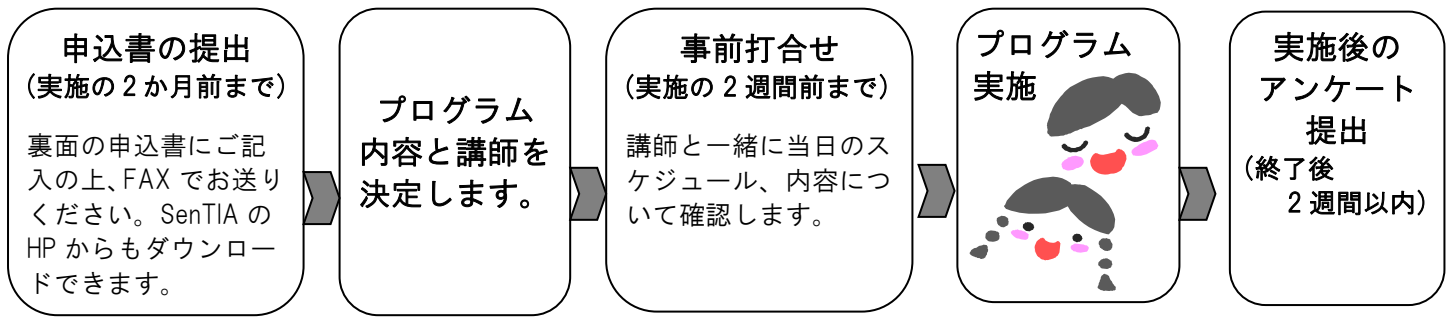
(公財)仙台観光国際協会 国際化事業部 国際化推進課 企画係

〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-2-10 仙台青葉ウイングビル A 棟 11 階

TEL:022-268-6260 FAX:022-268-6252 Email:m-takeyama@sentia-sendai.jp

URL:<http://www.sentia-sendai.jp>

## 申込みから実施まで



## 国際交流プログラム 外国人市民を講師として派遣します。

### 2017年度（平成29年度）日程表

学校への派遣は下記の期間で申込を受付けます。（市民センター、児童館は随時申込を受付けます。）

	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期
実施日	6月～7月	9月～10月	11月～12月
申込受付	5月1日(月)～ 5月15日(月)	6月12日(月)～ 7月14日(金)	9月1日(金)～ 9月25日(月)
事前打合せ	<u>6月実施</u> 5月24日(水) 5月25日(木)	<u>9月実施</u> 8月23日(水) 8月24日(木)	<u>11月実施</u> 10月18日(水) 10月19日(木) 10月20日(金)
	<u>7月実施</u> 6月21日(水) 6月22日(木)	<u>10月実施</u> 9月20日(水) 9月21日(木)	<u>12月実施</u> 11月21日(火) 11月22日(水) 11月24日(金)

#### ■講師料：貴校、貴団体の規定による講師謝礼

（ただし、仙台市教育委員会の規定による **3,500 円以上**）をお支払い下さい。

※訪問日に直接、講師にお渡しください。

#### ■国籍指定：国籍の指定は原則としてできません。

#### ■派遣人数：人数の制限はありません。

※派遣人数が多い場合は、同じ国籍の講師が入ることもあります。

#### ■派遣時間：2時間以内

#### ■授業開始時間：授業は早くても3時間目以降でお願いします。

※会場到着まで時間がかかるので、早い時間のスタートはご遠慮ください。

#### ■講師発表時間：30分以上

※数人の講師が20分刻みで移動するような細切れの授業はご遠慮ください。

短時間で多くの講師に接するよりも、一人の講師と時間をかけて交流する方が子ども達の心に残ります。

※講師が見つからない場合や効果的な授業が組めない場合は、派遣できない場合があります。

※一期あたりの受付件数は15件までとさせていただきます。15件以上となった場合は、派遣できない場合もありますので、お早目にお申込みください。



- （学校の場合）授業のテーマにあわせて、事前に調べ学習をしましょう。講師が決まったら、その出身国について調べておくと、当日の授業がよりよいものになります。（ただし、都合により講師が変更になる場合もありますのでご了承ください。）
- 実際の授業、講話では、本やインターネットからは得られない講師の体験話や家族の話など、その講師しかできない話をさせてください。
- パワーポイントも便利ですが頼りきりにならないように、講師のお話をうまく引き出す進行をお願いします。

## 開発教育プログラム

開発教育の参加型学習の教材を貸出します。実践に向けた勉強会も行います。



☆貧困、人権、環境、多文化共生など、世界の課題について、アクティビティによる疑似体験を通して学ぶ、参加型学習(ワークショップ)の教材を貸出します。問題に気づき、その背景や原因を考え、自分ができることについて考えます。

\*ワークショップを実践するための勉強会も行います。

\*ワークショップの進行役(ファシリテーター)の派遣をご希望の場合は認定NPO法人IVYに依頼することが出来ます。但し、派遣するスタッフ人数分の交通費、謝金が必要です。

### ■主な教材一覧（対象：小学校高学年以上）

名称	主な内容
世界がもし100人の村だったら（開発教育協会発行）	世界の人口を100人に縮めてみたらどうなるでしょう。実際に身体を動かしながら世界の格差、多様性を体感します。
貿易ゲーム（開発教育協会発行）	貿易の仕組みや貿易による経済格差の原因を考えます。
バーンガ	異文化間の摩擦、葛藤を体験します。
地球の食卓（開発教育協会発行）	各国の食卓の写真を通して、世界や地域の社会のあり方について考えます。
水から広がる学び（開発教育協会発行）	今後ますます重要視されるであろう「水」を様々な角度から扱います。
このTシャツはどこからくるの？（ACE発行）	ファッションの裏側にある児童労働の真実を取り上げます。

### 【「世界がもし100人の村だったら」を体験した中学生の感想】

- ・実際に体験してみることで、世界には大きな経済格差があることがわかりました。
- ・世界で起きている問題に驚きました。先進国に住んでいる一員として、何かしなければ、と思いました。
- ・文字が読めないことが、時に命に関わる問題になることを体験して、教育の大切さに気が付きました。
- ・自分の生活を見直すきっかけになりました。世界の問題について自分でも調べてみようと思います。

## 国際センタープログラム

国際センター見学の後、外国人市民や国際交流の話を聞きます。

☆郊外学習や社会見学等でご利用ください。国際センターの施設を見学した後、外国人市民の話や国際交流の話などを聞きます。

☆講師謝礼：3,500円以上/人

【実施例】講師：国際交流員（アメリカ出身）／高校生対象  
国際センター1Fの交流コーナーの見学、利用方法の説明を聞き、アメリカのバーモント州や、高校生の生活についての講話を聞きました。



